

3月のお代官様～ニャンコとお魚

「お魚くわえたドラ猫、追いかけて裸足で駆けてく、陽気なサザエさん」



年度末3月です。例年の話ですが、活動報告に決算、予算。社会的に地域活動を認めていただくには欠かせない書類作成に追われます。追われたら、逃げるに限る。

「あんたは、サザエさんに追われたドラ猫か～い！」なんて突っ込みが聞こえてきますが、今年も、ニャンコとお魚に会いに和歌山まで逃亡です。



廃線寸前のローカル路線を、駅長タマさんが救った和歌山電鐵。路線は、和歌山駅から貴志駅(紀の川市)の14～15kmで周辺には、集客を見込める観光地がありません。じゃあ集客を見込めるアイデアを出した結果が、たま駅長にたま電車、たまミュージアム。パンダ6頭で人を集める白浜アドベンチャーワールドより、ニャンコ1匹で人を集めた和歌山電鐵は凄いですね。今回は、中間点の伊太祈曽駅にクルマを置いて、1日乗車券を買って伊太祈曽から和歌山、和歌山から貴志、貴志から伊太祈曽と、たま電車やイチゴ電車に乗ってローカル線を満喫しました。終点の貴志の駅舎はニャンコの顔をモチーフに、装飾品だけでなく、紙コップまでタマなんてイカしてますね。





続いての行動は、紀の川を超えて粉河寺門前の丸浅旅館へ。2年前に食べたクエのフルコースが忘れられなくて、またまた訪問。白身魚でありながら、コラーゲン豊富で脂が乗って水炊きにしたら河豚もビックリのええ出汁が出て、ニヤ

ンコのようにお魚にしゃぶりつきたくなります。食前酒の紀州名産梅酒、突き出しは「鴨ロース、エビ、しめ鯖」の3種盛とハウレン草白和え、クエのお刺身、クエの水炊き、自慢の餡かけ蓮根饅頭、クエのアラ煮つけ、塩焼き、素揚げとコースは続いて、メの雑炊に至ります。にやんとも凄いコースで、お腹いっぱいもうクエン。なんて言いながら、美味しいもので満腹、動けません。ビール3本飲んで、1泊2食付きお二人4万円でお釣りが貰えます。はい、丸浅旅館凄いです。





しっかり眠って翌朝は、粉河寺を訪問。お祭り(たぶん初午祭)と重なったとかで、境内の粉河稲荷神社で紅白のお餅をいただきました。めっけもん広場で、八朔と柑橘を買って、海が見える黒潮市場(和歌山マリーナシティ)を訪問。お土産に灰干しさんまを買って、にやんとも素敵な2日間の逃亡生活を終えました。

さてさて、お役所に提出する書類に取り掛かるとしますか・・・もう一度逃げたらごめんなさいね。





平成31年3月12日記(旅は3月9・10日)

[トップ](#)
[戻る](#)
